

サッカーのワールドカップ開催中。教室や職員室でも、サッカーが話題にのびります。元気な南っ子は、運動も遊びも大好きです。

## 6月の南っ子「自分を大切にするための授業」

6月15日(木)1年生と4年生の児童が、特定非営利活動法人「セルフディフェンスコミュニケーション開発」の方々から、セルフディフェンス講座「自分を大切にするための授業」を受け、自分で自分を守るための技術(護身術)や、友達との上手なコミュニケーションの取り方のコツなどを学びました。PTA保健厚生委員会の呼びかけにより参加した、延べ39名の保護者の方々も熱心に聞き入っていました。今後、3年計画で全児童がこの講座を受ける予定です。



自分の気持ちを伝え合う



後ろから捕まえられたら

### セルフディフェンスを聞いて 4年 丹羽 真那

6月15日、4年生全員でセルフディフェンスの方々のお話を聞きました。悪い人を見たら服装などを覚えること、身長は自分がパッと見てどのへんぐらいか覚えることなどを教えてもらいました。次に、手をつかまれたら「せんたくき」、首をつかまれたら「ホチキス」などのわざを教わりました。

最後に、「忘れてはいけないこと5つ」を教えてもらいました。それは、①前を向いて歩く。②ついていけない。③けいさつ呼んで。④逃げることを考えよう。⑤大人に話そうです。私は、必ずこのことを守ろうと思いました。今日教えてもらったことを、ふだんの生活に生かしていきたいです。

1年生の南っ子に感想を聞きました。

- わるいひとにてをつかまれたら、りょうてでみぎにまわすと、てがはなれてにげれることや、くびをつかまれたらひじでたたくと、わるいひとがてをはなすからにげれることがわかりました。(1組 せきど みきと)
- 「せんたくき」のときに、ちょっとだけ「いたたた。」ってなったよ。それから、あいさつするときに、すごいこえがでたよ。(2組 うえのはら めい)
- わるいひとがきて、てをつかまれたらりょうてをまわすわざをして、うれしかった。ほんとうにわざをやって、たのしかった。(3組 おおの みゆ)
- せんたくき、ファスナー、ホチキス、とびらなど、にげかたがくわしくわかりました。いろいろおしえてくれてありがとうございます。はやあるきはできます。くるまのナンバーもちゃんとおぼえます。(4組 こませ ゆうま)

### <行事等予定>

- 6月29日(木) 学校保健委員会      7月 4日(火) B日課(下校14:40)
- 7月13日(木) 通学団会              7月18日(火)～19日(水) 短縮日課(下校14:10)
- 7月 8日(土)～30日(日) プール開放(土・日のみ)

## 学校公開日

ご参加・ご協力ありがとうございました

6月3日(土)は第1回学校公開日でした。

ババクラブの皆さんが朝のあいさつ運動を行い、公開日の雰囲気盛り上げてくれました。

1・2時間目は授業公開です。今年度の授業では「自分の思いや考えをいきいきと表現できる」南っ子の育成に重点をおいています。考えや思いを学級で伝え合う場面を見ていただけたでしょうか？

3時間目は、地区懇談会でした。PTA生活指導委員の運営により、地区ごとの意見や要望について話し合いました。話し合いの結果は秋頃にはまとめられお伝えできると思います。

下校は、緊急避難下校の練習です。今回は雨天を想定した案により、教室で児童の引き渡しを行いました。

盛りだくさんの公開日でしたが、多くの保護者・地域の皆さんのご参加・ご協力をいただくことができました。ありがとうございました。



誰もが安心できる地域を目指して

PTA生活指導委員長 梅田 貴恵

地区懇談会には、多数の方にご参加いただきありがとうございました。

最近の子どもたちを取り巻く環境は少しずつ悪くなり、登下校中も下校後も、安心して遊べなくなっているのが現状です。

地区懇談会では、それぞれの地区から多数の要望が出され、そのどれもが子どもたちを守りたいという温かい意見でした。保護者だけでなく、地域のボランティアの方ともどうしたら子どもたちが安心して、そして安全な環境で大きくなっていけるのかということ話し合える貴重な時間になったと思います。

いただいた要望に少しでも応えられるように、そして子どもたちの安全のために努めていきたいと思っておりますので、これからもご協力をお願いします。



全員が担任の先生と面談します

## 「教育相談週間」って？

子どもたちは、学校という集団生活の中で、さまざまな問題や困難に遭遇し、それを乗り越えながら成長していきます。しかし、いじめなどは決してあってはいけないことです。

小牧南小学校では、日々の相談に加えて、学期に1回「相談週間」を設け、担任が全児童と個別に面談を行います。相談希望がある児童は、担任以外の先生とも相談できます。

まず事前に、学校生活を振り返るアンケートを実施し、いじめなど困ったことがないかを訪ねます。担任は、子どもたちの声を聞く中で、自らの問題に気づき、自ら解決するよう、あるいは解決しようとする気持ちになるよう援助していきます。もちろん、問題があれば、担任だけでなく、学年や全職員で連絡を取り合い、できるだけ早期に解決するよう指導しています。ご家庭でも、何か変だと思われるような心配なことがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。